

福岡県福岡市における検証実験概要

離島における無人航空機を活用した荷物配送(ドローン物流)の早期実用化に向けた実験を実施。

- 実施日：平成30年11月20日(火)～21日(水)
- 実施場所：福岡市西区 宮浦(唐泊港)～玄界島
- 実施主体：福岡市ドローン物流協議会(代表事業者：ANAホールディングス(株))



◆検証実験内容

福岡市西区宮浦の唐泊港から約5km(飛行時間約10分)の距離にある玄界島との間において、現状船舶で実施している生活用品等の配送をドローンで実施。 ※計3往復実施

【検証実験シナリオ】

往路:書類や小型の荷物を配送

唐泊港から、書類や小型の荷物を玄界島に配送。

復路:玄界島産の海産物を配送

玄界島のヘリポート横空き地にて荷物を取り外し、海産物を搭載し、再び海上を飛行し、唐泊港へ配送。

※今回の検証実験では、目視外飛行時の安全を確保するため、補助者が船舶で海上を追走し、監視しながら実施。



使用機体: AS-MC03-T(BOX)



【機体仕様】

- 機体重量: 4.5kg
- 最大積載重量: 1kg
- 最高速度: 36km/h
- 最大飛行距離: 12km
- 最大飛行時間: 20分

輸送BOX



※配送中に箱が開かないようにするためベルト等で固定。

◆主な検証項目(現状船舶で実施している配送とドローンで代替した場合を比較)

- ① CO₂排出量削減効果
- ② 費用対効果(イニシャルコスト、ランニングコスト)
- ③ 今後の課題(海上飛行に当たっての墜落時の荷物水没リスク) 等